

刊夕 〇四月六

常警每日新聞

定価 一冊五銭 月刊五拾銭 郵費別
廣告料五拾銭 第一行五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞社
電話 六三〇
郵便 常警毎日新聞社
代表取締役 川崎 文治
編集長 川崎 文治
編集主任 川崎 文治

感冒の後に起る病氣

市原 卯太郎

一體感冒なるものは、身體の冷えから血液の性質が變化して起るものか、それともそれと同時に體內にいつも居るところのばい菌が時を得て急に猛烈に發育してくるものであるか、いろ／＼に考へられてゐる。しかし寒いといふことだけでは起つて來ないものらしい。

もし寒いとか冷え過ぎるといふことが原因であるならば、寒い國の人や或は寒さに直面して働くやうな人は先づ第一におかされさうなものだが、さうでもないところを見ると、身體の抵抗力が弱くなつた時や疲勞が加はつた時におかされ易いやうに思ふ。それに天候もよほど關係するらしく空氣中に溫度が著しく減少した時にも起るものらしい。平常酒を飲んでゐる人は感冒にかゝることが少いといふことをよく話題にされるが、ほんたうにさうであるか、動物實驗によらぬも兎を水にひたしてそれに一定の時間扇風器で風を送つ

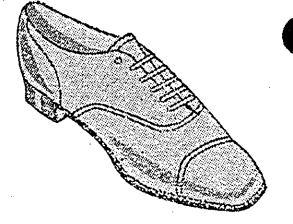
てやると、普通では腎臓をおかさなすが、兎にアルコールを飲ませておいて同じやうな實驗をすると、直ちに腎臓炎を起してくるといふことである。

動物の實驗をそのまゝ人間にあてはめることは出來ないとしても、ともかくアルコールと寒冷によつて腎臓炎が起るものならば、人間が酒によつてうたゝ寝をするとか、乗り物に乗つて風に吹かれたり、また戸外の寒い風を却つて心持よく感じたりするやうな場合は腎臓炎を起さないとしても抵抗力が弱まつてつて、

もし身體にばい菌が居るといふやうな場合ならばそれが頭をもち上げてくることも考へられはしないか。また實際酒を飲んだ擧句感冒を引いたといふ例も随分あるし、酒を飲み過ぎて胃腸を害して、そのあげく感冒を引いたといふとふ例はいつも耳にするところである。

格

紳士靴
婦人靴
學生靴
夏向白靴



各種取揃へてあります
●自製注文靴は品質吟味……
期日迅速に……
御用命の程を……

菊地靴店

電話六五九
平四 マルトモ内

勉

外科 内臓外科
光線科 院長 安齊 徹
新設
産婦人科 醫學士 黒澤 廣
△入院隨意△
平明 田町

安齊醫院

電話四七五

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

山内醫院

醫學士 山内 亨 吉

病室完備
自炊便有

和漆器家具は 和久屋
平町 四丁目
電話 九五番

金の五月人形陳列

嚴めしき甲冑武者
鎧カブトに陣道具
御座敷職 布鯉類其他
男児の幸運を祝はく端午節の一切を取揃へて皆様の御出をお待ち、たして居ります。
平町 三丁目

金太郎玩具店

五月人形陳列

新興日本のシンボル!
弊店特製の大鯉のぼり大好評
皐月晴れの夜空に勇ましい鯉を翻へして日本男児の意氣を壽く五月節句が近づきました。弊店は逸早く尙武の祝に相應しい品々を豊富に取揃へ皆様の御來覽をお待ちして居ります。
□大鯉のぼり (一間より七間迄) (御注文に應ず)
□ 鯉外職 (二巾、三巾、五巾等)
□ 特撰武者人形 (箱入ケース入)
□ 甲冑揃
□ 御座敷職
□ セツト (五圓より百五十圓迄)
進物用は一圓より取揃へてあります。
フクダヤ祝品部
平町 一丁目

五月節句御祝品出賣

御座敷敷座揃
トツセ揃
武者人形
陣道具揃
トツセ揃
鯉
トツセ揃
平町 四丁目
スガノヤ提灯店
電話 九五番

市制實施に

拍車をかく

平窪との合併は 交渉順調に進む

平町が全町を擧げて待望、實現を期してゐる大平市建設への市制施行調査は各委員が夫々調査活動を續けて隣接村合併も平窪村との間に順調な交渉を進めて居るが六日午後一時から同町會議室に市制施行調査部長會議を開き、井上、野崎、萩原、關内、坂本の五部長が合併問題其他に關し協議す

茶種工場

又も増築

既報四倉茶種工場は事業愈々進轉して需要網が擴大されたので去月中工場の一部を増築したが更に工費二千餘圓で二階建倉庫を新築すると

揃ふ菅笠

早くも田植

平窪村が郡内の トップを切つて

平窪村では凶作克服と多收獲の方法を、内各農事實行組合と協議した結果今年から早期田植を實行する事を申合せ来る十六日には郡内のトップを切つて村内一齊に田植を行ふと

平商新築

委員

既報平商父兄會、過般總會を開き「平商友會、母校新築寄附募集助成の件」に就いて種々協議した結果各

- 部に委員を擧げ應援する事になつたが募集委員は今日左の如く決定された
- (平町)飯沼林一郎 志賀盛榮 藤田孝一 大塚金太郎 松本龜吉 門馬淺次郎 五十嵐小平 關内信二郎 永山義太郎 牛久長松 山崎金作 阿部岩次 山家重吉 金子重次 根本耕一 内藏佛治 黒川清一郎 永山小平 鈴木斧二郎 森下安吉 佐藤榮次郎 石川義助 佐藤榮一 難波甚藏 長

瀨富彌 神奈倉春造 坂本幸太郎 (内郷村)小松多嘉 坪井文湖 草野善次 四倉清一 間宮六郎 牛久恒三郎 (湯本町)鈴木道太郎 木村徳三郎 篠原保治 (磐崎村)清水金吾 (相田町)相良皆吉 鷲富太郎 (勿來町)赤津一 大平陸四郎 (上小川村)柴崎源次郎 (赤井村)田久一男 櫻村喜一郎 (小名濱町)菅原勳 (豊間村)四家富雄 (江名町)佐藤己之藏 白土國治

強敵との顔合せに

磐女軍が一層勇躍

猛練習を勵む籠球部選手 第一回戦は龍ヶ崎

既報十三、四の兩日東京女高師主催關東女子中等學校籠球大會に出場する磐女籠球部は目下キャプテン阿部トシ子さん以下連日猛練習を勵んで居るが組合せは第一回戦に茨城縣で雄名を走せて居る龍ヶ崎高女と對戦する事になり選手達は一層勇躍して居る

競技記録

第三で賞状

既報第三小學校は来る二十六日全校生徒の競技會を開き新記録を出した者には賞状を授與するが競技種目は左の如くである

五十米百米 四百リレー 六百リレー 走幅跳 ボール投

新切な車掌さんに

乗客が懇篤な謝状

平窪車掌小牧部五郎君は去月九日上野行二百三十旅客列車に乗務中土浦驛から乗つた東京市在原區小山町大山新次さんか時價二百圓の寫眞機を紛失したとの届

に接し職務に忠實な同車掌は上野から平へ向ふ歸途沿線各驛に照會して捜査した處寫眞機は築波鐵道列車内で發見され土浦驛で保管して居るのを知り紛失者の大

山氏に通知し同氏の手に戻つたので大山氏は今日懇篤な感謝狀を平窪に寄せて來た

古市訓導出發

應へ出向を命ぜられ明五日赴任する筈であつた平第二校訓導古市克惠氏は六日平發午後十時二十八分の急行で出發と變更の由

菜種の役員會

販利菜種榨油所は来る六日午前十時から同所に役員會を開き十年年度決算を行ふ

磐中軍が惜敗

對平遞友俱樂部の野球試合は昨日午後三時から磐中球場で行つたが六對二のスコアで磐中軍が敗れた

平町人事

- △新川町一四當時横濱市鶴見區市場町一七一六四ツ倉武一郎氏長女智恵子さん
- △八幡小路七八當時茨城縣久慈郡大子町大字大子九八九小川勇氏二女陽子さん
- △九品寺前三三江原太市氏 (四一)永戸村大字下永井字峰岩 ○八鈴木八さん (二六)

北川外科

平窪新川町
電話 六八四

ウワツハツハツハ

生の旨さを知らずに
ビールを語るなんて?
例年の通り**生ビール**賣出し
キリンビール仙臺工場直送
……(毎日午後三時着荷)……

洋食ハ
平會館

九ミリ半
ポニイ
小型活動寫眞機

改良された前進號
撮影機 ¥ 25.00
映寫機 ¥ 24.00

(カタログ送呈)

平二・電 3
西村屋藥局カメラ部

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑士 大岩俊雄

平町新川町十九
病室完備 入院隨意
木村病院
電話一六四番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番
●學士 吉田久雄

元大本教支部長の

夫人極秘裡に取調

再建運動の不穩計劃と

聯絡關係に就いてらし

平署特高課では本四日早朝、平町四丁目機械商元大本教支部支部長中村佐治助氏の妻あい子(五)さん内外郷湯本方面に亘つて十數名を召喚、長澤特高主任、中島部長他特高課總動員で何事か秘密裡に取調べを行つてゐるが右は過般全國的に行はれた邪教掃蕩の嵐に根こそ

四千圓近く

掛代金横領

酒屋の鼠小僧

昨日平署に檢舉さる

平町研町一〇酒商白萩こと屋島龍助方雇人耶摩郡喜多方町字天満前生佐藤三郎(三)は昨年五月頃から主家の酒代金三千七百餘圓を横領費消したと發覺三日平署で檢舉した

平青年の

旅行團出發

既報一泊二日間の平青年團白河一那須一須賀川一郡山旅行團は明朝五時住吉屋本店前に集合三臺の自動車に分乗出發するが歸平は六日

十年以上

勤続局員

既報平郵便局管内三等局員の十年以上勤続者として過般仙臺通信局長より表彰された者左の如くである

- (川前) 西山義一 (植田) 正木清 鈴木清 高木森 枝(好間) 吉野留蔵(湯本) 奥田清治郎 齊藤金太 佐藤三喜雄 (小名濱) 佐藤貞繼

元警視廳巡查が

無錢飲食の揚句 一二巡査と大格闘

湯本町吹谷元警視廳巡查

湯本町吹谷元警視廳巡查鈴木武夫(四)は昨日夜同町料理店、飲食店を片ツ端から無錢で呑み廻り揚句に暴れ廻つてゐるのを通りか

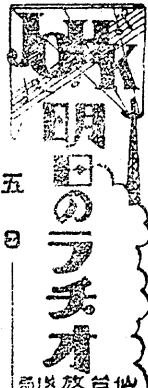
大辻可郎の漫談で

平青年團が資金を造成

平町青年團は昨夜幹部會を開き資金造成の件を協議したが来る二十日午後六時から聚樂館で大辻可郎の漫談と映畫の夕を催す事になり目下準備を進めてゐる

美術家連視察

美術研究所員田中喜作氏外二氏は来る十日來郡十五日迄滞在して内郷村白水願成寺、阿彌陀堂、大野村藥王



今夜は南の風天 氣次第に良くなる 明日は晴後夕 立模様

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「食べもの話」
- 後六、二五 郷土講座「だんぶり長者の話」
- 中村 次郎
- 後七、三〇 講演「長壽と衛生」大阪府大醫學部長醫學博士 小澤 修造
- 後八、〇〇 河鹿を聴く 仙臺市廣瀬川仲瀬橋中繼

明日の部

- 後八、一五 ミュージカルドラマ「荒城の月」金森愛子 大阪放送合唱團
- 後九、〇〇 連続談話「湖山田主水」 龍齋貞
- 後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組像告
- 前六、三〇 國語講座 佐伯常勝
- 前七、〇〇 朝の修養「山

小學校に忍込み

窃取逃走中の少年

二日夜十時頃小名濱町字定西地内を平署員が密行中同所暗がり、舉動不審の少年が徘徊するを本署に連行取調べると右は同町大字古港字御殿一小野賢治(八)假名で同夜七時頃同町小學校事務室に忍び込み現金三圓在中の墓口を窃取したと自白、他に餘罪ある見込で追

母親起訴

去月四日午前三時頃母子心中を圖り先づ熟睡中、養子(九)を細紐で絞殺自分は咽喉部に出刃を突刺したが死にきかず苦悶中を發見さ

裁判一束

- △双葉郡浪江町大字高瀬字西原八四瀬戸物行商戸田忠助(三)は去月十五日夜喧嘩別れをした元の内縁の妻同村盲人佐々木フヂエ(四)が

上田病院

平町 南町 電話二二九番

井坂醫院

平町 田町 電話九五九番

- △集金員 廿四才 高卒
- △事務員 十九才 中卒
- △トラック助手 廿四高卒
- △土工夫 卅一
- △鐵工職 廿二 高卒
- △通勤女中 三十一才 高卒
- △女三修

- 家學生式「鹽人亮忠」
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前一〇、三〇 婦人講座「婦人のための經濟常識」(物價と貨幣價值)前田繁
- 後〇、〇五 立體漫談「昇給酒合戦」出演杉狂兒外
- 後〇、三五 國民歌謡「日本よ國」桃合演奏所より中繼 奥田良三
- 後二、〇〇 婦人の時間「家庭と法律」(權利とその保全及び主張)大森洪太
- 後二、四〇 小學生の時間 第六唱歌 大阪府池田師範學校附屬小學校兒童
- 後三、一〇 教師の時間 兒童心理講座「兒童の性
- 格」浪速高校教授正木正
- 後六、〇〇 子供の時間 郷土の童謡「岩手縣地方」お話高橋剛加芽ヶ杜童謡研究會
- 後六、二五 基礎英語講座 鹽谷榮
- 後七、三〇 講演「議會を通過した米穀關係の三法案について」農省米穀局長荷見安
- 後八、〇〇 河鹿を聴く 仙臺市廣瀬川仲の瀬橋畔より中繼
- 後八、五 俳諧「追分節」唄金森傳七郎外
- 後八、三〇 箏と管絃樂 桃谷演奏所より中繼
- 後八、五五 連続談話「潮田主水」一龍齋貞山



（源氏物語）
丸尾至陽（畫）

一三八 無慈悲な宅番

青木彌太郎はごう問をこらへて一言もいはぬ。さアこの事が江戸市中の話題にのぼり湯屋、髪結床では日としてこの噂の出ぬことはない。

○「青木さんの一件を聞いたかえ、大したものだぜ、石を抱いても白状しないさうだ、豪傑だなア」

などといふ、この當時刑事問題について噂の高きは淺草の名主が鷹をはなち小鳥を捕つたこと、或大藩の大名の家來が藝妓をあつめてフランス式の演習をしたことです、町人の分際として鷹をつかふとは不埒なる所爲また藝妓をあつめて演習をするにこれらも奇抜ですそれに青木の一件が三大層といつて大評判、この三ツの内二ツは南町奉行の係りでそれと決定したが北町奉行池田の係りの青木のことばかりはなか／＼決定しない、池田は青木に白状させねば役儀の失態とそこで部下、味方の三好右衛門に申し付けてごう問にかけたところが青木が白状せぬ、三好の同役高橋小左衛門は青木をごう問にか

ばとて決して白状はせぬと見てゐるごう問にかけて白状せぬと奉行の不面目これはむだなことだと申ししたが三好はき、入れずごう問にかけたが果して白状せぬ、三好は大いに失望したが高橋はそれ見たことかと冷笑して居る、かうなると三好

に警固する、青木の妻は自殺しようと思つたことも度々ある、それを女中がはりになつて働いてゐる例のお花が
花「奥様、短氣なことをなさいますな、噂に聞きました、青木様はどんな責にかゝつても白状しないとのこと、その内にはお上にはお慈悲がございますから出牢になることもございませうそれを待つておいでなさいよ」
かういつてはなぐさめるところがこれへ來てゐる番人はまことに残忍です、お花が小供のおしめを庭にほすことも許さない

見であればこれにも罪がある、その罪のあるものゝ身につけたものを天日で干しては神様におそれ多い、わかつたか」
花「あきれたねこの人にはそれぢやアどこへ干すんだよ」
○「何といふ口のきゝやうだ、どこへ干すんだよとは何だ、座敷で干せ」
花「大概になさい、馬鹿だねお前は」
○「飛んでもねえ奴だ、こいつは女のやうではないな……」
花「それではお座敷で干しますよ、奥様宅番の人は鬼ですよ、今に青木さんが出て來たればこの返報をさせようが、まア／＼仕方がない辛抱なさい」
と炭火でこれをはす、番人は見ることに聴くこと詳細に筆記して係の者に報告する、これは青木がせめられるより細君としてはつらかつかさうですかういふわけで青木の親族とても宅番の許しを得なければ細君に會うことも出来ない、青木の妻はおかねといつてこの時卅歳、長男が彌吉この時八歳、長女とよ十七歳、二女は生れて間もないまだ乳呑兒、家來には友八といふものがあるそれにお花が萬事世話をしてゐた、つぎに青木ですが何うしても白状せぬ故係の



はどんなことをしても青木は白自させねばならぬとたまごう問にかけける、けれども青木はそれをデツとこたへて白状せぬ、三好は彌々困つた。

○「これ何をやる、それは何だ、小供のしめしではなにか、そんな物を庭ではしてはいかぬ、不埒なことだ」と叱り付けたが
花「何をいふんですね、殿様には罪があるとも子供には罪はありませんよ、お前さんはじやけんだねえ」
○「だまれ、罪ある青木の

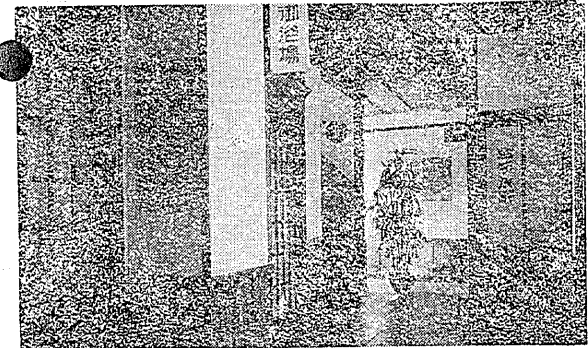
何うしても白状せぬ故係の

者は連累者の津田幸次郎を相ごう問にかけて責めることに決定した。

時計
高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集委細面談。

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正
れる	る	シ	シ	シ	シ
て	る	イ	イ	イ	イ
行	る	酒	喫	食	食
	る	場	茶	堂	堂

平・田町
レストサロン
電三五二番



小瀧へ!!

- ◆宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
- ◆日歸浴席料 .20
- ◆自炊料 .50-.80 (入場料・室料 夜具料一切)
- ◆料理一定食 .80 1.00 1.50 (その他一品料理洋食)
- ◆湯効 効 神経痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)
- ◆諸設 備 插球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場と洗面所、水、洗式便所、小動物園、タクシー、御子様運動器具
- ◆名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 瀧の湯
御自炊
電話 (小名濱) 103番

内外科科一般
金成醫院
平鎌田町(電三五八)

社員採用
固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歴書持參本人來談
平町銀治町十八
日本商事株式平支部

難波
内科一般
醫學博士 難波陸
看護婦募集
平町大町新川端
電五〇〇二
院